

令和元年度第4回国立大学法人鹿屋体育大学学長選考会議議事要旨

日 時 令和2年3月25日（水） 14：35～15：30

場 所 【鹿屋体育大学会場】鹿屋体育大学事務局2階 大会議室
【東京会場】東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター2階多目的室4

出席者 泉、上治、中西、宮嶋、荻田、金高、国重、濱田（幸）、前田（明）、山田、森（司）、石田、原田の各委員

欠席者 岩切、小館の各委員

陪席者 緒方監事

議 題

1 前回議事要旨確認
原案のとおり確認した。

2 報告事項
なし

3 議題

（1）次期学長選考スケジュールについて

事務局から、資料3-1～3-5に基づき説明があった後、次期学長選考のスケジュールについて以下のとおり意見交換を行った。

＜意見＞

- ・ 任期を6年に変更した際も議論を行ったが、変更してから不都合が起きていないと思われるので素案どおりでいいのではないかな。
- ・ 既に、第4期中期目標に向けた文部科学省との対話を行い、現学長の元で将来構想や目標設定をしなければならないことが始まっている。今回のみ5年にすれば、第5期中期目標の2年前には次期学長が決定するので、十分、中期目標・中期計画作成に関与することができる。
- ・ 3月上旬に文部科学省との対話を行ったが、内容的には意見交換のようなもので、中期目標・中期計画についても、今後も十分に変更はできるので、素案どおりでいいのではないかな。
- ・ 中期目標・中期計画は大学が考えるものか、学長が考えるものか。中期目標・中期計画の定義によるのではないかな。就任1年前の決定で、中期目標・中期計画がまだ変更できるのであれば素案どおりでいいのではないかな。
- ・ 中期目標は大学としての目標であり、学長のリーダーシップのもとに、学長の考えを反映した目標であるので、次期学長が参画することは重要だと思う。

- ・ 中期目標・中期計画が4年目で一度評価されるのであれば、4年任期の再任2年ではどうか。
- ・ 可能であれば、次期学長の決定時期を1年半前にしてはどうか。
- ・ 1年前でも十分に間にあうのではないか。

なお、これらの意見を踏まえて、資料3-2について、1期の期間については、6年（再任不可）とすることとした。

また、資料3-4、3-5について、種々意見交換を行い、鹿屋体育大学長に求められる学長像の「Ⅲ 次期学長に求められる取り組むべき課題」については、細かく記載すると個性やユニークさがなく、皆同じようなプレゼンテーションになるのではないか、経営協議会でも話題に挙げられる女性の登用や多様性、外部資金等の課題を委員で出し合ってはどうか等の意見があり、今後整理していくこととした。

(2) その他
な し